

1 シラバスとは

この冊子のことを「シラバス」と言います。「シラバス」とは、『科目紹介』のための説明書のことです。皆さんは、このシラバスの教育課程表や科目紹介を参考にしながら、今年度の学習の指針にしてもらいたいと思います。教育課程表には来年度以降の科目選択が出ていますので参考にしてください。

後悔しない選択をするためには、将来への展望が必要です。自分が将来どのような職業に就きたいのか、また、その職業に就くためにはどのような上級学校（大学・短期大学・専門学校など）へ進学すべきなのか、どのような資格が必要となるのか、などを把握していなければなりません。

「シラバス」を参考に、自分の将来についてじっくりと考えてみましょう。

2 鷗川高校の特色

一昔前までの日本は典型的な「学歴社会」でした。中学校卒業よりも高校卒業、高校卒業よりも大学卒業の方が就職に有利になるばかりでなく、実際に給料や昇進などでもかなりの差があったことは事実です。そして、その当時からの影響で、現在でも就職するなら「工業科」や「商業科」、進学を目指すなら「普通科」というように単純に色分けする傾向が見られます。

しかし、最近では社会の情勢は変化してきています。新しい知識、情報が社会のあらゆる領域の活動の基礎となり、高学歴よりも仕事に生かすことができる高い能力を有していることや、一定水準以上の資格を取得している人を積極的に雇用しようとする傾向が企業に見られるようになってきました。つまり、「知識基盤社会」への移行です。この特徴は「①課題解決能力の育成」「②幅広い知識と柔軟な思考力の習得」「③知識や技術は日進月歩であり高い競争力と技術革新が求められている」ということにあります。鷗川高校では、「総合的な学習（探究）の時間」や2・3学年での選択科目を履修することにより、この3つの要素を培っていくことができます。

また、平成29年度新入生から、学校設定科目「むかわ学」と「チャレンジスタディ」を導入し鷗川高校の学びが大きく変わりました。（令和2年度入学生は総合的な探究の時間内で実施）

「むかわ学」は地域全体を学びのキャンパスとしてとらえ、グループ別学習や巡検等を通して、地域や国際社会について学ぶ探究的学習を行う科目であり、「チャレンジスタディ」は、みなさんの能力や適性に応じてテーマを設定し、少人数・習熟度別グループ学習を行う科目です。

さらに鷗川高校では、技能審査による単位修得も認めています。これは各種検定で上級の資格を取得することで単位を認めるものです。

こうした学習を通して、グローバル化する社会で求められる力を養成し、みなさんが持っている能力や特性を最大限に伸ばすことができるよう、先生方も指導します。

3 科目選択

鷗川高校では、2学年と3学年で多くの選択科目があります。1・2学年では、5～6月に2・3学年の科目選択を行い、10月の最終決定までに、必要に応じてもう一度選択科目の見直しを行います。「LHR」や「総合的な探究の時間」などを通して自分の将来のことをしっかりと考え、自分に合った科目を選択することで進路実現を目指しましょう。

なお、仮決定以後の科目変更は原則できません。

4 科目選択をする上での注意点

科目選択は、単に自分の好きなものや勉強しやすいものを選んでそれでおしまい、というものではありません。高校卒業後の進路を見据え、自分の将来にとって必要な科目を選択しなければなりません。場合によっては、安易に科目選択をした結果、高校卒業時に自分の目指す進路に進めないということにもなりかねません。「楽そうだから」「試験がないから」という理由で科目選択をし、その結果、自分で自身の将来の道を閉ざすことのないように十分に考えておかなければなりません。進路指導部の先生や担任の先生、学年の先生など、皆さんと進路について個別面談をする機会が数多くありますので、進路希望実現のためにも、早い段階から真剣に自分の将来について考えておく必要があります。

5 評価と評定

	前期中間	前期期末	後期中間	後期期末
1・2年生		4月～前期期末までの評価 (10段階)		10月～後期期末までの評価 (10段階) (前期評点+後期評点)/2 評定(5段階)
	4月～前期中間までの評価 (10段階)	4月～前期期末までの評価 (10段階)	10月～後期中間までの評価 (10段階)	10月～後期期末までの評価 (10段階)
3年生	4月～前期中間までの仮評定 (5段階) ※	4月～前期期末までの仮評定 (5段階) ※	4月～後期中間までの仮評定 (5段階) ※	(前期評点+後期評点)/2 評定(5段階)

6 履修と修得

「履修」とは、授業に出席してしっかりとその授業に参加することを意味します。「修得」は、「履修」したことを条件に、一定以上の成績を修めること（評価で「2」以上を取ること）を意味します。高校での授業はこの「履修」「修得」の2つが進級・卒業の条件になります。皆さんが「単位が危ない」と思うとき、一般にはの「修得」のことを指すと思われるかもしれませんが、成績に関してよりも、まずは「履修」しなければ成績の話にすらなりません。きちんと授業に出席し、正しく授業に参加しなければ、「修得」つまり成績の話にもなりません。

《進級・卒業の条件》

- 1 該当学年において、すべての科目と総合的な学習（探究）の時間を履修する
- 2 該当学年において、すべての科目を修得する
- 3 該当学年における上記1・2をクリアすると進級認定
- 4 3学年において上記3をクリアすると卒業認定

※「総合的な学習（探究）の時間」には修得するという概念がないため、上記2には当てはまらない。

授業中に私語をしたり、授業とは関係のないことや居眠り等したりするのは履修したとは見なせませんので、日常的にそうならないための心がけが必要になります。

7 より良い学校生活を送るためにも

学校生活は、別に授業だけではありません。授業以外の、部活動や学校行事、その他級友や先生方との交流、数多くの貴重な経験が待っているはずですが、高校に在籍していなければその経験もすることはできません。高校で在籍に関する規定があるのは、この「履修」「修得」についてのみです。「履修」「修得」ができなければ進級・卒業ができません。貴重な高校生活を有意義に送るためにも、今のうちから高校卒業後の自分の将来について真剣に考え、それを普段の授業に姿勢・態度で表してください。

今の努力は、すぐに形に見えなくても必ずどこかで表れてきます。逆に言えば、今の努力なしではその成果が将来に表れてはきません。